

## 空手道 部 安全対策表

以下の表は、各項目に対する安全対策および事故発生時の対応をまとめたものである。本クラブ所属部員は、必ず安全対策を実施し、事故等が発生しないように注意する。また、万一、事故が発生した場合には、表に示されたように正しい対応をしなければならない。

| 項目          | 安全対策   | 事故発生時の対応   |
|-------------|--|--|
| 緊急連絡体制の管理   | ① 緊急連絡網を作成し、練習中及び試合などにおいて必ず所定の位置に配置するか、または顧問教員及び部長又はマネージャーが持参すること。   | 顧問教員及びクラブ部員は、事故発生時においてケガ人の処置をした後、緊急連絡先に連絡すること。             |
| 部員の健康管理     | ① 練習前に必ず自分の体調を把握し、体調の思わしくない時は、活動を行わないようにする。<br>② 練習中において急に体調が悪くなる場合があるので、必ず複数で練習し、常に相互に確認すること。<br>③ 練習が終了して、練習場所を出る時も必ず複数で行動すること。練習場所に一人が残ることがないようにする。また、帰宅時なるべく複数で行動すること。   | 人命第一を考え、状況を的確に判断、救急車の手配をする。また、直ちに顧問教員あるいは看護師（又は学生係）に連絡をする。 |
| 練習中における安全管理 | （*各クラブで作成してください。）<br>① 必ず準備体操をしてから練習をはじめること（途中から練習に参加する場合は自主的に準備体操を行うこと）。また、練習後は必ず整理体操を行い、故障などの予防に努めること。<br>② 組手練習等、危険を伴う練習では必ず防具等の安全具を着用すること。<br>③ 練習中はこまめに水分補給をし、熱中症などにならないような配慮を心がけること。特に、部員の様子に異変がないかを相互に確認すること。 | 状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。                                    |

| 項目                              | 安全対策   | 事故発生時の対応  |
|---------------------------------|--|---|
| 試合における安全管理                      | ① 試合前に救急箱の中をチェックし、必要なものがそろっているか点検すること。<br>② 試合会場への移動は、必ず公共交通機関を使用して行うこと。また、事情により顧問教員が引率できない場合は責任者を決め、万が一の時には顧問教員と連絡が取れる体制を取るようしておく。<br>③ 試合は、特別な場合を除き顧問教員の付き添いなしに行ってはいけない。 | 必要なものがない場合は必ず補充する。<br>試合会場への移動計画をあらかじめ顧問教員へ連絡し、万が一の場合の対応について確認しておく。 |
| 練習場所等の施設の安全管理                   | (*各クラブで作成してください)<br>① 練習前に使用する施設の安全確認を行うこと。<br>② 練習場所はしっかりと整備された状態で練習を開始できるようにしておく(練習前後の清掃と整理を徹底する)。<br>③ 使用する道具(防具、ミット、サンドバッグ等)の破損等がないことを必ず確認する                           | 状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。   |
| 外部(応援者を含む)の安全対策<br><br>*対応クラブのみ | (*各クラブで作成してください)   | (*各クラブで作成)  |
| その他                             | ① 部長及びマネージャーは、クラブ活動日程・練習内容を事前に顧問教員に連絡すること。<br>② 事故時には全員で応急体制に当たること。<br>③ 部員及びマネージャーは、救命救急法に関する知識を身につけておくこと。<br>④ 事故時の連絡体制のため、学生の緊急連絡先を常備しておくこと。                            | 状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。   |

## 1. 共通の対策

- 活動前に検温を行い、発熱がある場合（体温が 37.5℃以上である場合、または平熱より 1℃以上高い場合）は活動に参加できない。発熱がなくても咳など風邪の様な症状がある場合、倦怠感がある場合、息苦しさなどがある場合、嗅覚異常など身体に異常を感じる場合、その他少しでも体調が優れないときも活動に参加できない。
- 熱中症の心配のない活動や運動を伴わない活動においては、活動時にマスクを着用する。マスクを着用しない場合は、近距離での会話を控える（近距離での大声は徹底的に避ける）。
- 石けんを用いた手洗いやアルコール等の消毒用品を使用して、手指消毒を行う。
- 人との間隔をできるだけ 2 m（最低 1 m）空けるように努める。
- 使用する用具等については使用前に消毒を行うとともに、不必要な使い回しをしない。
- マスク、タオル、給水ボトル（飲料）などは自分専用のものを用意し、共用しない。
- 体育館など屋内で実施する活動については、その場所のドアを広く開け、こまめな換気を行う。ドアノブなど、学生が頻繁に触れる箇所は担当者を決め、定期的に消毒を行う。
- 部室や倉庫はなるべく短時間の利用とする。部室が活動場所となるクラブ・同好会は、人数に応じて教室の使用なども検討する。

## 2. 個別の活動内容にあわせた対策

- 様々な観点から飛沫感染防止策を実施する。特に、組手練習や形での気合は飛沫感染防止策（組手の場合はメンホー内側のシールド装着、形の場合はマスク着用等）が十分でなければ行わない。また、安全具の共用は禁止とする。
- 練習開始前と練習終了後は必ず床の清掃・消毒を行う。
- 上記は（公財）全日本空手道連盟感染拡大防止ガイドライン練習再開用（R2. 6. 19）練習再開用（<https://www.jkf.ne.jp/imp-notice/20200622/16570>）に準拠し、改定されるたびに最新版に従う。

## 空手道 部 安全点検リスト

### 一般的事項

- 救急箱は用意してあるか
- 緊急連絡網は用意してあるか
- 部員の体調を確認したか
- 準備運動はしっかりと行われたか
- 活動をするのにふさわしい服装をしているか
- 防具の準備はできているか
- 水分補給の準備はできているか
- 

### 施設・用具関係

- 練習前に使用する施設の安全確認を行ったか
- 練習場所はしっかりと整備された状態で練習を開始できるか
- 使用する道具の破損等がないことを確認したか（防具、ミット、サンドバッグ等）
- 練習後の整理・整頓、清掃は十分か
- 
- 

### 緊急連絡先

- ・ 顧問教員：
  - 芹澤 弘秀：[学校]055-926-5797
  - 大久保進也：[学校] 055-920-3726
- ・ 学生係 : 055-926-5734
- ・ 保健室 : 055-926-5729
- ・ 学生主事 : 055-926-5768

- ・ 施設、道具類に破損等がある場合には、顧問教員に報告するとともに、その使用を禁止し、それに関わる練習を行わない。また、施設に関しては、学生係にも連絡すること。